



♪清村杜夫先生を偲ぶ♪

横浜・鶴見アコーディオンクラブ 渡辺 好子

□去る3月4日、清村杜夫先生が突然、眠るかのように旅立たれました。

先生は、30代の頃から音楽センターアコーディオン教室の講師として活躍され、関東アコーディオン演奏交流会の審査員もなされていました。

音楽センターを退任されてからは、地元川崎、横浜のアコサークルの指導をされ、私達鶴見アコーディオンクラブも20年以上にわたってお世話になりました。



献杯する木下そんき氏↑

その間、2002年には「神奈川アコ合同」として先生編曲の独奏譜と合奏譜の載った「しまうた」上下巻を発行し、翌2003年には「清村先生ありがとうコンサート」を開きました。そして昨年6月に80歳を祝って「傘寿を祝う会」を川崎の仲間と行い「次は米寿の祝いですね」と約束したのに、果たすことなく逝ってしまいました。

逝去から半年後の10月24日、横浜・鶴見のあけぼの保育園で『心やさしい平和のう

たびと 清村杜夫先生を偲ぶ会』を行ないました。かつての生徒や講師仲間、ハーモニカ仲間ら80人あまりが参加してくださり、生前の先生の活躍ぶりを改めて知ることが出来ました。

清村先生の「偲ぶ会」にふさわしく、アコーディオンによる独奏「アメイジンググレイス」「祖国よさらば」「波濤をこえて」、合奏「荒城の月」「さざんかの宿」「ホレホレ節」とハーモニカ仲間「のららる」「野ばら」の献奏が参加者の心に美しく響きました。この日に向けて数回の練習を重ねてきた神奈川のアコ合同による「反核メドレー」と「島唄」の献奏は本当に素晴らしく、天国の先生に満足してもらえたかなと思っています。そして最後に、先生の作曲した「この手をつないで」の全員合唱で先生を偲び、会を閉じました。

「偲ぶ会」に先立ち、50人以上の方から寄稿された追悼文集「ありがとう やすらかに」を発行し、当日皆さんにお渡しすることが出来ました。

先生の心が詰っている「しまうた」上下巻



に掲載されている曲をこれからも演奏していこうと思っています。
←崎元譲とその仲間たちによる献奏「ららる」



清村先生愛用のアコを譲り受けて献奏する渡辺さん、曲は「アメイジング・グレイス」



↑清村先生作曲「この手をつないで」、作詞:門倉さとしを全員で合唱、伴奏:内田與明(アコ) リード:山田千賀子